

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	27	介護計画のアセスメントについてがまだまだ不十分でアセスメント様式の見直し及び生活歴等の聞き取りを行い介護計画に反映する必要がある。	アセスメント様式を変更し、入居者担当職員及び計画作成担当者にてアセスメントの充実を図る事ができる。結果、介護計画の質が高まる。	アセスメント様式の変更を実施する。また、他職種共同でのアセスメント及び介護計画の作成を行い、介護計画の質を高めていく。	12ヶ月
2	28	外出の援助について、何名かの入居者のニーズには対応できているが、自ら外出を希望しない方への外出援助が不十分である。	自らの希望の少ない入居者へ対しても外出援助を行い、生活の質を向上する。	1人ひとりのニーズを再度明らかにし、外出の援助ができる時間帯を検討する。毎日ではなくても計画的に実施できるように実行する。	12ヶ月
3	4	外部ボランティアの積極的な受け入れ、地域の方々に気軽にホームに来ていただける雰囲気作りが必要。	地域との関係を密にする。また、外部ボランティアの受け入れを積極的に行う。	ボランティア係りの立ち上げ。福島区社会福祉協議会にも協力していただき、ボランティアの受け入れを実施していき地域の方々にホームに訪れてもらう。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。